

令和3年10月 定例教育委員会々議録

1 日 時 令和3年10月29日(金) 午後1時30分～

2 定例教育委員会

開催場所 会議室301

3 出席委員の氏名

教 育 長	山 田 公 一	教育長職務代理者	中 野 信 男
委 員	秦 久美子	委 員	齋 藤 純 郎
委 員	小 林 恵 子	委 員	上 田 佳 澄

4 説明のため出席した職員

教 育 次 長	太 田 和 行	主 幹	鈴 木 華 奈 子
学 校 教 育 課 長	岡 部 清 美	子 育 て 支 援 課 長	白 井 健 次
社 会 教 育 課 長	石 田 進 一	主 任 指 導 主 事	今 井 泰 輔

5 本委員会書記

学校教育課 向 井 康 弘 他 2 名

6 傍聴人

1 人

7 会議に付議した事件

会議録の承認

諸報告

- (1) 行事報告及び行事予定
- (2) 教育長報告
- (3) 寄附報告

専決処分の報告について

報告第9号 共催・後援の教育長専決報告について

協議題

協議第8号 新規共催・後援申請について

議 案

議案第 40 号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

8 閉 会

会議録

別紙のとおり

1 開 会 宣 言 午後1時30分～

2 会議録の承認

全員異議なく、令和3年9月定例教育委員会々議録は承認された。

3 諸報告

(1) 行事報告及び行事予定

〈各課長が報告〉

○委員（齋藤 純郎）

「リーディングスキルテスト分析研修会」について、受講された先生方の反応を教えてください。

○主任指導主事（今井 泰輔）

分析研修会には、市内の研究主任他、希望する教職員32名が受講した。研修後のアンケートでは、参加者の9割以上が研修内容について「よい内容であった」と答えていた。これまでは読解力育成にどのように手を付けたらよいかわからない部分もあったようだが、結果分析の方法や実際の授業をリーディングスキルテストで診断される6分野の視点をもって設計することが大切であることなどのアドバイスを受けた。多くの教職員から「自校の職員に研修内容を伝達し、具体的な指導を研修・研究していく」と言っていた。

取組は始まったばかりで、より具体的で効果的な指導方法を知りたいと考えていると思うので、教育委員会では定例学校訪問や学力向上モデル校事業を通して各校と一緒に研究したり、よい取組を他校にも紹介したりして共有していきたいと考えている。

○委員（齋藤 純郎）

引き続き、児童・生徒への指導方法の確立に向けて力を入れていただきたい。

○委員（齋藤 純郎）

「泥かぶら観劇会」について、いじめや人権問題を考える良い機会になるので、このまま新型コロナウイルスの感染が減少して、実現の運びとなるように願っている。

○学校教育課長（岡部 清美）

平成27年度より、中学在学時に一度は観劇できるよう3年おきに実施している。

今年度で3回目である。いじめや人権について考える機会になると考えている。新型コロナウイルス感染症の状況も今のところ落ち着いているため、予定通り実施したい。

大規模な学校では2回に分けて公演したり教室でライブ配信をするなど、感染対策を講じながら実施する予定である。

○委員（斎藤 純郎）

図書館事業について、としょかん探検隊やなぞ解きイベントなど魅力的な取り組みが実施されている。指定管理者と社会教育課が力を合わせて図書館の充実に努めていることがよくわかる。今後も市民の皆さんのために指定管理者と協力して図書館事業に力を入れていただきたい。

○社会教育課長（石田 進一）

ツイッターで毎日情報を発信したり、マスクをしていても職員の顔が分かるように顔写真を名札に貼るなど、様々な取組をしている。引き続き、指定管理者と連携して様々な事業を実施していきたい。

○委員（斎藤 純郎）

「ミズノビクトリークリニック」について、東京オリンピックに出場された飯塚選手や金井選手から指導を受ける中学生はとても幸せだと思う。また、両選手は燕キャプテンミーティングでも講師を勤めていただけるということでありがたいことである。

これも社会教育課と指定管理者が日頃から良好な協力関係を築いているからこそ実現できることだと思う。今後も指定管理者と力を合わせて市民サービスの向上に努めていただきたい。

○社会教育課長（石田 進一）

これまでも著名な選手から指導をしていただいております。今後も継続していきたいと考えている。また、イベントだけでなく、施設管理の面でもしっかりと連携していきたい。

(2) 教育長報告

〈山田教育長が以下のとおり報告〉

1 はじめに

- 新型コロナウイルスの感染者が、全国的に減少していることから、19 都道府県に出されていた緊急事態宣言、及び8県に出されていたまん延防止等重点措置は、9月30日をもって全面解除された。

- 新潟県では、県内に出されていた警報が10月15日(金)をもって解除された。警報を解除するにあたって、県は警報・特別警報の発令基準の見直しを行い、警報以外は、すべて常に注意をしていくという意味で、注意報は使わないこととした。
- 県は、警報解除後も当面守っていただきたいこととして、次の2点をあげている。
 - ・ ワクチン接種の有無に関わらず、マスクの着用、手指の消毒等の基本的な感染対策を実施する。
 - ・ 飲食を伴う会合は、基本的感染対策の実施や体調管理のうえ、特に大人数で実施するものについては、可能な限り着座形式、定員50%以下、ワクチン接種者(検査で陰性が証明された方も含む)同士で実施する。
- 園や学校をはじめ、教育委員会が所管する施設においては、引き続き、感染症予防対策をしっかりと行っていくこととする。

2 10月の行事から

(1) 地域に根ざす学校応援団事業研修会(10月5日(火))

- 今年度、第2回目となる、地域に根ざす学校応援団事業研修会を10月5日に開催した。今回の研修会は、初めての試みとしてオンラインにより実施した。地域コーディネーターの皆さんからは、それぞれの学校に集まっていたいただき、各学校からオンラインで研修会に参加した。
- 私も教育長室から研修会に参加し、オンラインで開会のあいさつをさせていただいた。
- 研修会では、「地域コーディネーターとして考える課題と改善に向けた工夫」をテーマにグループ討議を行い、地域コーディネーター同士の情報交換の場とさせていただいた。
- この研修会が各学校の今後の取り組みに活かされ、地域に根ざす学校応援団事業が益々充実したものになることを期待したい。

(2) 交通安全ポスターコンクール表彰式(10月11日(月))

- 燕市交通安全協会が主催する、令和3年度燕市交通安全ポスターコンクールの表彰式が、10月11日に吉田公民館で開催された。
- 燕市交通安全ポスターコンクールは、令和2年度はコロナ禍で開催できなかったため、2年ぶりの開催となった。
- 募集の対象は、小学校が4年生から6年生、中学校が1年生から3年生で、小学校は12校から60人、中学校は1校から11人、合計で71人の応募があった。
- 作品の審査は、9月27日(月)、28日(火)に行われ、特別賞として燕市長賞1作品、燕警察署長賞1作品、燕市教育長賞1作品、燕市交通安全協会長賞1作品が選ばれ、優秀賞には10作品が選ばれた。

- 表彰式では、特別賞と優秀賞の表彰が行われ、私からは燕市教育長賞の表彰を行わせていただいた。また、今年度は、最も応募率が高かった学校に対して贈られる優秀学校賞が新設され、松長小学校が初めての受賞校となった。
- 特別賞4作品と優秀賞10作品は、10月11日（月）から17日（日）まで吉田公民館、10月25日（月）から10月31日（日）まで分水公民館、11月1日（月）から7日（日）まで中央公民館で展示される。子どもたちの努力の成果を、ぜひともご覧いただきたい。

(3) 燕さくらマラソン大会実行委員会（10月14日（木））

- 令和3年度第2回燕さくらマラソン大会実行委員会が、10月14日に分水総合体育館の分水地域交流センターで開催された。
- 第2回の実行委員会では、本年4月17日（土）に開催した第32回燕さくらマラソン大会の決算報告を行うとともに、次回の第33回マラソン大会の開催案について協議を行った。
- 来年開催する第33回燕さくらマラソン大会は、令和4年4月16日（土）に開催予定で、第32回大会と同一種目で実施し、全種目に定員を設定する。現時点では、県外参加者の申し込みも可能としたいと考えているが、今後の新型コロナウイルス感染症の感染状況によっては、県内在住者限定に変更することも考えられることから、最終的な判断は募集開始の直前に行うこととし、実行委員会事務局にその判断を委ねることとした。

(4) Let's Try Eco 啓発ポスターコンクール表彰式（10月15日（金））

- 越後吉田ライオンズクラブ、燕ライオンズクラブが主催する、Let's Try Eco 啓発ポスターコンクールの表彰式が、10月15日に中央公民館で開催された。
- Let's Try Eco 啓発ポスターコンクールも、2年度はコロナ禍で開催できなかったため、2年ぶりの開催となった。
- 募集の対象は、市内小学校の4年生で、485作品の応募があり、9月10日（金）に行われた審査会で、市長賞1作品、最優秀賞5作品、優秀賞40作品が選ばれた。
- 表彰式の当日は、市長賞1作品、最優秀賞5作品の表彰を行った。例年同時に実施していた優秀賞40作品の表彰については、密を避けるため、受賞児童に代わり当該校の教員1名から出席いただき、受賞児童にはそれぞれの学校から後日表彰状を渡してもらうこととした。
- 市長賞1作品、最優秀賞5作品、優秀賞40作品は、10月18日（月）から24日（日）まで吉田産業会館、10月25日（月）から10月31日（日）まで分水福祉会館、11月1日（月）から7日（日）まで中央公民館で展示される。こちらの方も、ぜひとも、ご覧いただきたい。

(5) 燕市美術展覧会授賞式（10月17日（日））

- 令和3年度、第16回燕市美術展覧会が10月15日（金）から18日（月）まで、

吉田産業会館で開催され、その授賞式を10月17日に吉田産業会館1階の第一会議室で行った。

- 第16回燕市美術展覧会には、日本画部門21作品、洋画部門17作品、工芸・彫刻部門20作品、書道部門28作品、写真部門28作品の応募があり、昨年よりも出品数はやや減少したものの、力作ぞろいの展覧会になったと思っている。
- 授賞式では、部門ごとに、鈴木市長から市展賞、新潟日報美術振興賞、奨励賞及びスワロー賞の表彰状と記念品を受賞者に渡していただいた。なお、市展賞を受賞されたのは、次の方々。

【日本画】

市展賞 「ゆきがかりの小径」 山宮里菜さん

【洋画】

市展賞 「十月八日 朝」 長谷川邦子さん

【工芸・彫刻】

市展賞 「Bleed」 関川葵さん

【書道】

市展賞 「新古今和歌集より」 望月和子さん

【写真】

市展賞 「自然のフェイスシールド」 大坂鉄平さん

- コロナ禍で、創作活動にも制限が加わったと思われる中で、作品を完成させ、見事に受賞された皆さんのご努力に、敬意を表させていただきたい。

(6) 新潟県都市教育長協議会秋季定期総会（10月19日（火））

- 県内20市の教育長が一堂に会する新潟県都市教育長協議会秋季定期総会が、10月19日に阿賀野市のふれあい会館で開催された。
- 総会では、本年5月18日に五泉市で開催された春季定期総会以降の事業報告、令和4年度事業計画（案）、令和4年度負担金（案）及び令和4年度歳入歳出予算（案）について協議を行い、いずれも原案どおり承認された。なお、令和4年度の負担金については、令和3年度からの繰越金で令和4年度事業が実施できる見込みのため、徴収しないことに決定した。
- 関東地区都市教育長協議会の会議の新潟県における開催地については、令和5年1月に開催される第2回理事会、令和6年5月に開催される総会のいずれも長岡市を会場とすることが承認された。
- 新潟県都市教育長協議会の次期開催地については、令和4年度春季定期総会は佐渡市で、秋季定期総会は魚沼市で開催される。ちなみに、令和5年度は、春季定期総会が南魚沼市、秋季定期総会が胎内市で開催される予定で、令和6年度以降は後日協議することになる。
- このほか、国・県に対する要望事項や情報交換が行われ、私からは、燕市スポーツ協会が取り組んでいる「燕市スポーツサポーターバンク」や指導者を育成するための「燕市スポーツサポーターバンク認定指導者育成プログラム」について

情報提供をさせていただいた。

(7) 広報つばめ「子ども記者」終了式（10月27日（水））

- 広報秘書課が主催する、令和3年度広報つばめ「子ども記者」の終了式が10月27日に開催された。
- 令和3年度の「子ども記者」は、密を避けるため、小学校6年生のみを対象として実施したもので、応募してくれた8人の6年生が、6月23日の任命式からこの日の終了式まで、約4カ月にわたって子ども記者として活動してきたもの。
- 8人の子ども記者は、4人ずつ2チームに分かれ、チームAは燕市のスイーツ屋さんについて、チームBはALTの先生について、それぞれ取材を行い、広報つばめ「子ども版」、『もっと！ギュッと！つばめっ子ニュース』にまとめあげてくれた。また、特別取材として、両グループ共同で今年の4月から燕市プロモーション・コーディネーターとして働いている高橋佳美さんの取材も行い、記事にまとめてくれている。
- 終了式では、自分たちがまとめた記事の苦勞した点や工夫した点などについて、それぞれのグループがプレゼンテーションを行ってくれた。4人がそれぞれ交代しながら手分けしてプレゼンテーションを行う姿から、4カ月の活動を通して培われたチームワークの良さがうかがえ、ほほえましかった。
- 完成した広報つばめ「子ども版」は、市内全小学生に配られるほか、広報つばめ11月号に折り込まれ、各世帯に配布されることになっているので、子ども記者の皆さんの力作を、是非ともご覧いただきたい。

3 結びに

- まだまだ暑い日が続くと思われた10月も、17日を境に気温が大幅に下がり、一気に季節が進んだと感じている。急激な気温の変化に体調を崩さないよう、留意しながら、降雪に向けた準備を進めたいと考えている。
- 令和4年度の当初予算の編成作業が進められている。厳しい財政状況の中で、事業見直しを行うなど、創意工夫しながらの予算編成となる。必要な教育関連予算の確保に向けて、全力で当たりたいと考えているので、教育委員の皆様のご協力を切にお願いしたい。

○委員（小林 恵子）

「地域に根ざす学校応援団事業研修会」について、地域コーディネーターの方はどういうことを現在の課題と考えているのか。

○主任指導主事（今井 泰輔）

「コロナ禍により事業が減っているため、要請も減った」といったことや、「学校

の先生ともっとスムーズに連携が取れるとよい」といったことなど、コロナ禍ならではのことが課題として挙げられた。

(3) 寄附報告

3件の寄附について

〈No. 1について岡部学校教育課長が説明〉

〈No. 2について白井子育て支援課長が説明〉

〈No. 3について岡部学校教育課長が説明〉

4 専決処分の報告について

報告第 9 号 共催・後援の教育長専決報告について

2件の後援申請について

〈No. 1、2について岡部学校教育課長が説明〉

5 協議題

協議第 8 号 新規共催・後援申請について

2件の後援申請について

〈No. 1について岡部学校教育課長が説明〉

〈No. 2について石田社会教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく No. 1、2 は承認された。

6 議案

議案第 40 号 燕市学校支援地域本部実行委員会委員の委嘱について

〈岡部学校教育課長が説明〉

審議の結果、全員異議なく議案第 40 号は原案通り議決された。

7 閉会 午後 2 時 10 分

燕市教育委員会会議規則（平成 18 年燕市教育委員会規則第 2 号）第 17 条第 2 項の
規定により会議録に署名する。

令和 3 年 11 月 19 日

教 育 長 山 田 公 一

教 育 委 員 甲 野 信 男

教 育 委 員 秦 久 美 子

教 育 委 員 斎 藤 純 郎

教 育 委 員 小 林 恵 子

教 育 委 員 上 田 佳 澄

会 議 録 作 成 職 員 志 賀 覚 子